

桜島の噴火に伴い発表した降灰予報と降灰の状況について

平成20年7月28日07時05分と10時10分に発生した桜島の噴火に伴い、07時30分及び10時55分に降灰予報を発表しました。

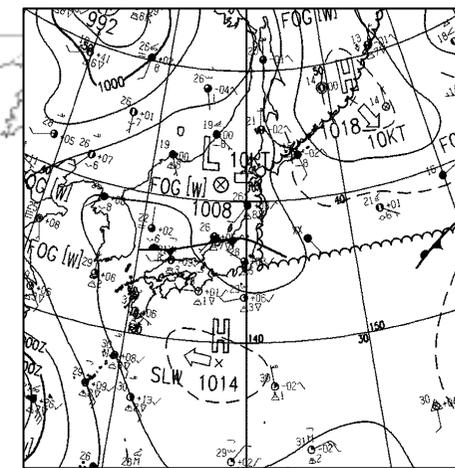
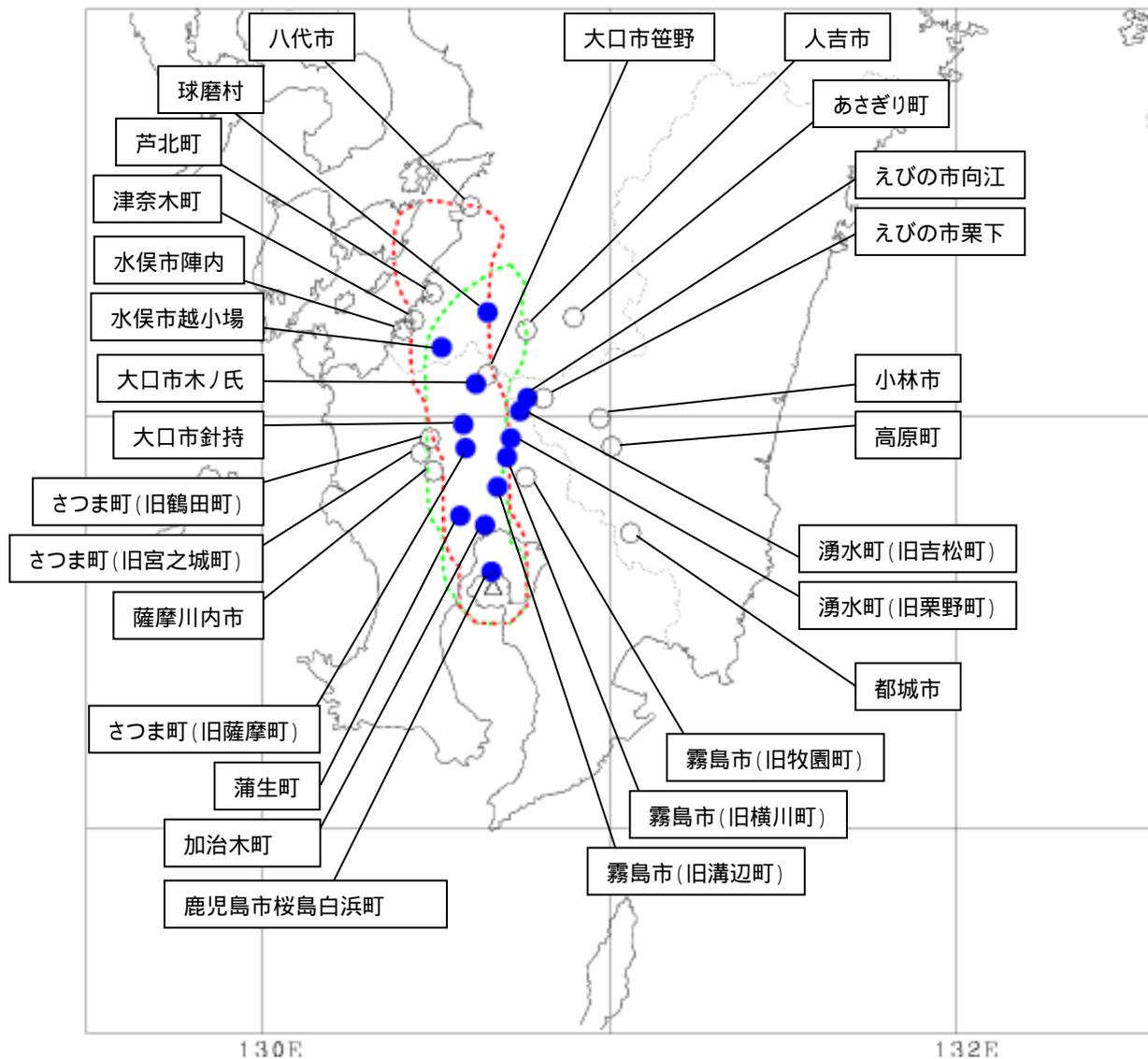
降灰予報の発表は、平成20年3月31日の業務開始以来はじめてとなります。

九州地方は高気圧の縁辺を回る南寄りの風の場合にあり、桜島の北北西方向に火山灰が流れ、熊本県までの範囲で降灰があるという予報を発表しました。

噴火発生後、鹿児島、宮崎、熊本の各地方気象台では、降灰の状況について、現地調査及び地方公共団体等の協力を得て聞き取り調査を行いました。調査の結果、降灰が観測された地域は熊本県球磨村まで広がっており、降灰域について概ね予測できていることがわかりました。

なお、気象庁では、噴煙の高さが3千メートル以上、あるいは噴火警戒レベル3相当以上の噴火など、一定規模以上の噴火が発生した場合、降灰予報を発表することとしています。

2008年7月28日桜島噴火に伴う降灰分布と降灰予測図



地上天気図 7月28日09時



赤線: 7時5分の噴火により、約6時間後(13時)までに降灰が予想された領域
 緑線: 10時10分の爆発により、約6時間後(16時)までに降灰が予想された領域
 降灰の報告があった主な地点を、降灰なしの報告があった主な地点を で示す